

サボテンまめちしき

砂漠で生きる植物たち

砂漠で生きる植物たちは、乾燥に耐えるしくみを持っており、大きく分けて3つあります。

- ①根を10m以上地中深く伸ばして、地下水を吸う植物
- ②乾燥期を種で過ごし、雨が降ると芽を出して、次の乾燥期に向け種をつくる植物
- ③茎や葉、または根に水分を蓄えて、乾燥に耐える植物

サボテンは③の特徴に加えて、根を浅く広く張る特徴を持っています。根の範囲はサボテンの高さと同程度～2倍ぐらいといわれており、少ない雨を一気に吸うようなしくみになっています。

出典：埴 沙萌 『サボテンのふしぎ』（あかね書房）2012年



Pick Up! サボテン

和名 金獅子（きんじし）

学名 *Cereus neopitahaja f. monstruosus aur-epinus*



岩のような形が特徴のサボテンです。柱サボテンが石化して、このような形になります。「石化」とは成長の変化によりごつごつした姿になることをいいます。